



山田マシントール（東京都台東区、山田雅英社長、03・3834・5046）の旋盤用転造刻印工具（写真）が、ユーザーの継ぎ手メーカー

旋盤用転造刻印工具

作業効率改善を後押し

分の1に抑制した。別工程だった刻印作業を旋盤作業に取り込んで工数や作業時間も短縮できる。山田社長は「刻印文字の種類を増やすなど対応機を拡充したい」と笑顔のみ

ファイナル
いい話

1の業務改善活動で、最優秀賞を受賞した。レーザー刻印機で製造番号などを刻印する場合に比べて初期費用を数十

山田マシントール

せる。レーザー刻印機は刻印内容を変更しやすく汎用性が高い。一方、変更が少ないものに利用される場合もある。このため自社や他社製の刻印機を展示したショールーム（さいたま市中央区）を開設。実演を通じてスペックに合った刻印機を提案している。作業効率の改善を後押しして「国内で生き残りを目指すモノづくり企業の役に立ちたい」（山田社長）と力を込める。